

RICOH

リコー-500 *GS*

使用説明書

RICOH

®

リコー500GSは、シャープな新設計レンズ、ピントの合わせやすい連動距離計、低速から高速までの豊富なシャッタースピード、自動的に露出のきまる完全EE、技巧的なマニュアル撮影可能、さらにスナップ撮影に最適の常焦点マークを備えた、初心者からベテランまで楽しめる使いやすい高性能カメラです。

〈特 長〉

1. 露出は完全連動EE

カメラに内蔵した高性能の電気露出計が明るさを測定し、自動的に適正絞り値をセットしますから、初めての方でも簡単に美しい写真がとれます。

2. 明るく見やすい距離計内蔵ファインダー

ピントの合わせやすい距離計、のぞいたままで撮影に必要な情報が得られるファインダーですから、シャッターチャンス逃がしません。

3. 技巧派向きのマニュアル撮影可能

オート撮影を解除すればマニュアル撮影が可能になりますから、技巧的な撮影ができます。

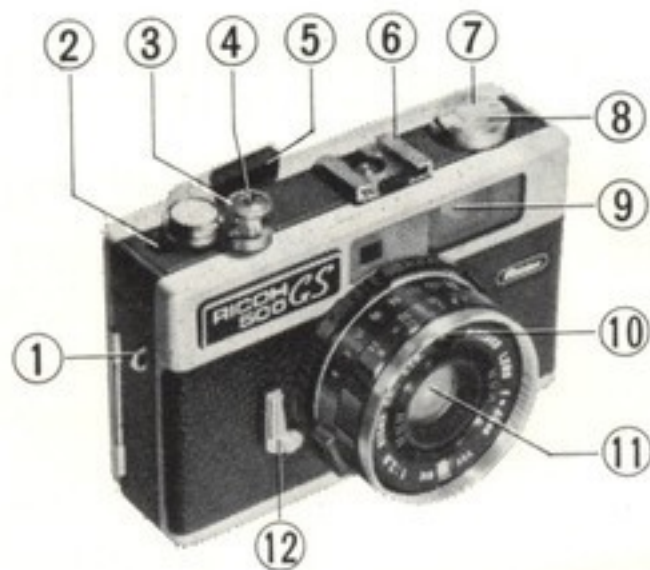
4. GSスナップ方式による速写

露出(A)、距離(◎)、シャッタースピード(125)のグリーン3点をセットしておけば、シャッターボタンを押すだけのフルオート撮影が楽しめます。

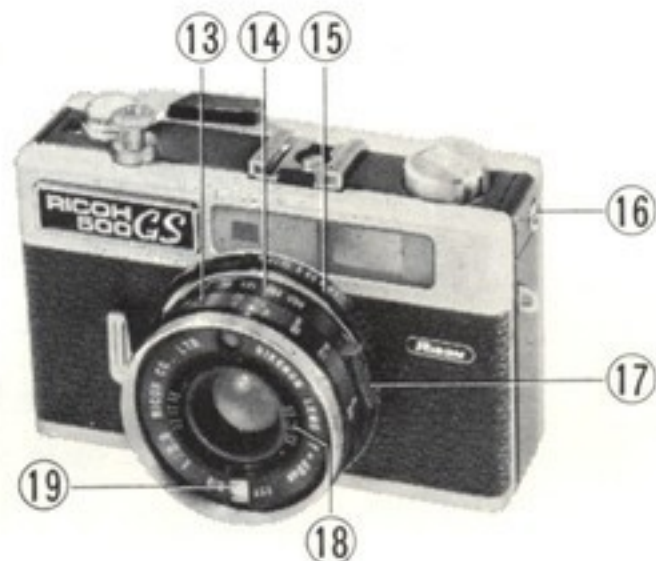
性能

- レンズ……リケノン40mm F 2.8 3群4枚構成 最短撮影距離 0.9m
- シャッター……B・ $\frac{1}{8}$ ・ $\frac{1}{15}$ ・ $\frac{1}{30}$ ・ $\frac{1}{60}$ ・ $\frac{1}{125}$ ・ $\frac{1}{250}$ ・ $\frac{1}{500}$ 秒 X接点
- ファインダー……採光式ブライトフレームファインダー 倍率0.47 視野率85%
絞り目盛、露出不足および過度マーク、視差補正マーク表示
マニュアル切替えと同時にMマーク表示
- 距離計……二重像合致式連動距離計 常焦点マーク(2.4m)付き
- 露出計……シャッター速度優先式EE(CdS受光部光量制御式)
連動範囲EV6~EV17(ASA100)
フィルム感度範囲ASA25~800(CdS受光部面積切替式)
水銀電池 JIS. H-C(1.3V)1個使用
- セルフタイマー……作動時間約8秒
- フィルム巻上げ……レバー式 一作動120度 巻上げ余裕角20度
- フィルム巻戻し……クランクレバー式
- カウンター……順算式自動復元
- フィルターサイズ……46mmねじこみ式
- 大きさ・重量……111(巾)×71(高さ)×56(厚さ)mm 420g

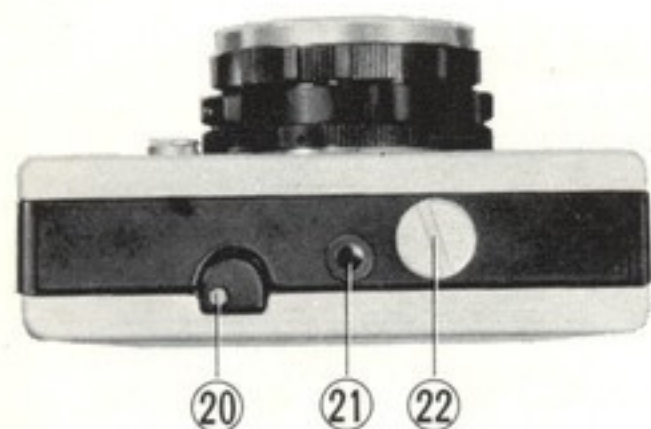
各部の名称



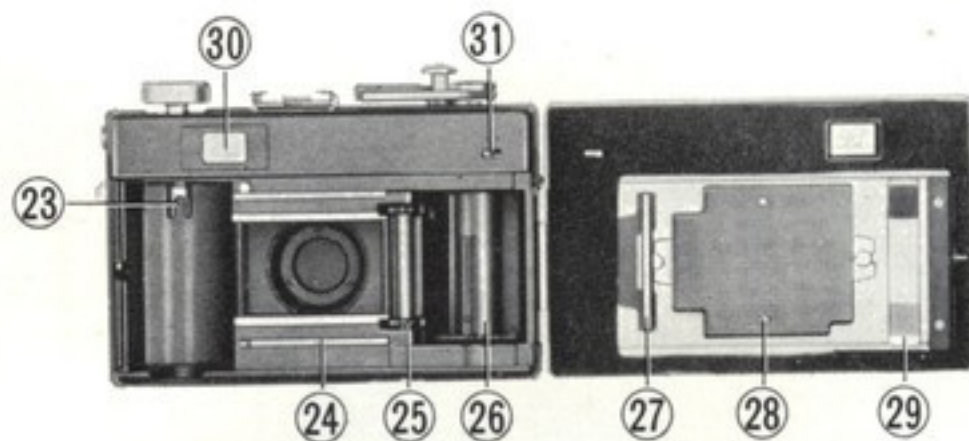
1. 紐吊金具
2. フィルムカウンター
3. シャッターボタン
4. レリーズソケット
5. 巻上げレバー
6. アクセサリーシュー
7. 巻戻しクランク
8. 巻戻しデスク
9. ファインダー窓
10. 露出計受光窓



11. 撮影レンズ
12. セルフタイマーレバー
13. 距離リング
14. シャッタースピードリング
15. 絞りリング
16. シンクロソケット
17. シャッターリングつまミ
18. フィルム感度セットリング
19. フィルム感度表示窓

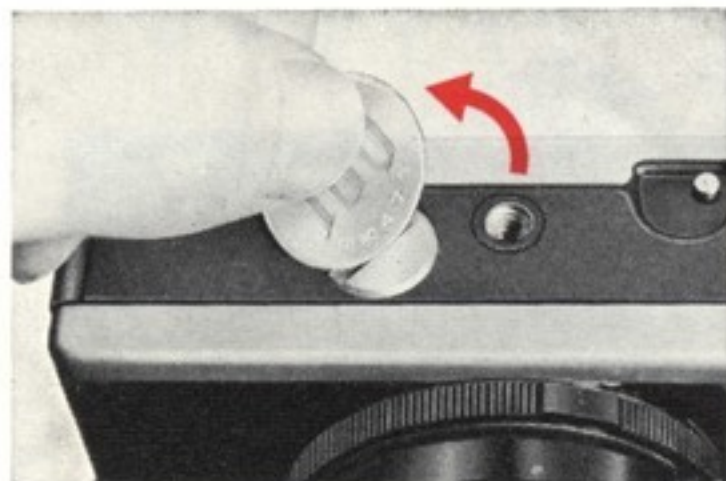


- 20. 巻戻しボタン
- 21. 三脚ネジ穴
- 22. 電池室蓋



- 23. 巻戻軸
- 24. フィルムガイドレール
- 25. スプロケット
- 26. 巻取軸
- 27. フィルム安定ローラー
- 28. 圧板
- 29. パトローネ押え
- 30. ファインダー接眼窓
- 31. カウンター解除レバー

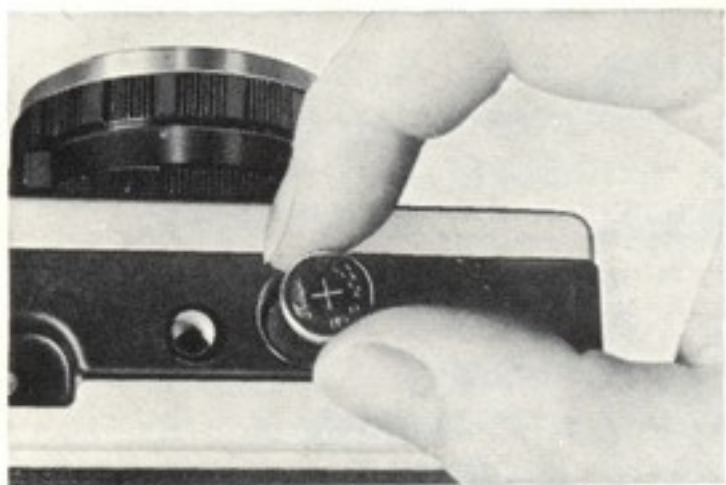
電池の入れ方



1. 硬貨を電池蓋の溝に入れ、時計と反対方向に回して蓋を取りはずします。
2. 水銀電池を、十印を上にして電池室に入れ、蓋をしめます。

※ 電池の寿命は約1年です。1年経過したときは、新しい電池と交換してください。

※ 電池の寿命がきれると、明るいところでシャッタースピードを $\frac{1}{8}$ 秒にしても、メーター指針が露出不足マーク内に入っています。

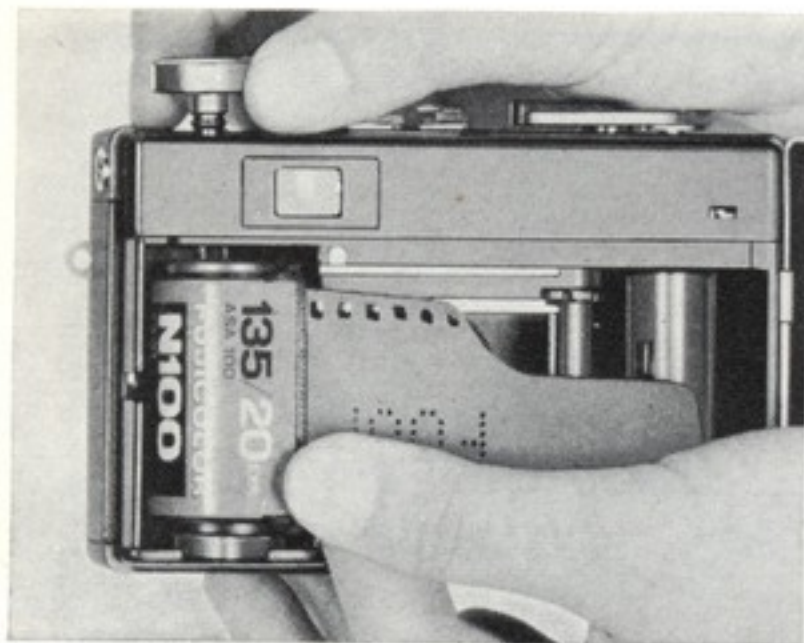


使用水銀電池 JIS H-C (1.3V)

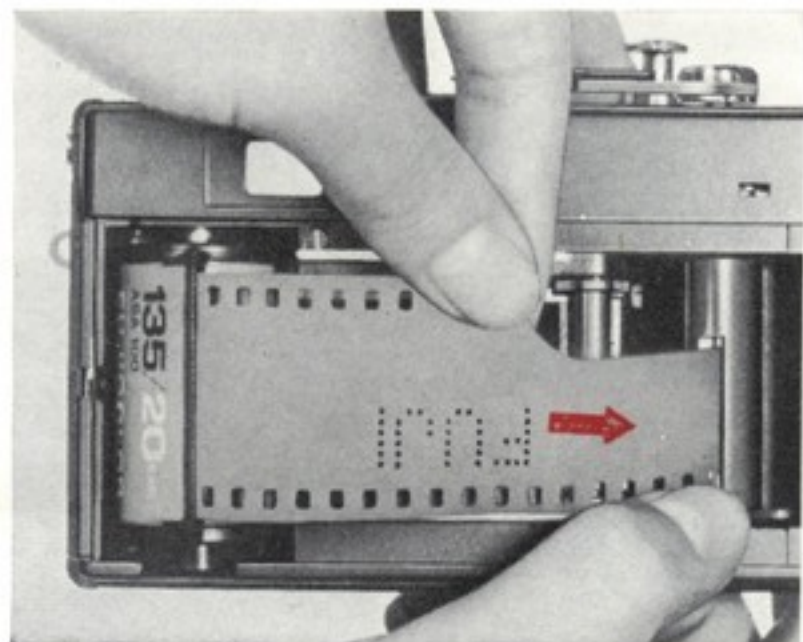
注意

水銀電池に熱を加えたり、分解すると危険です。

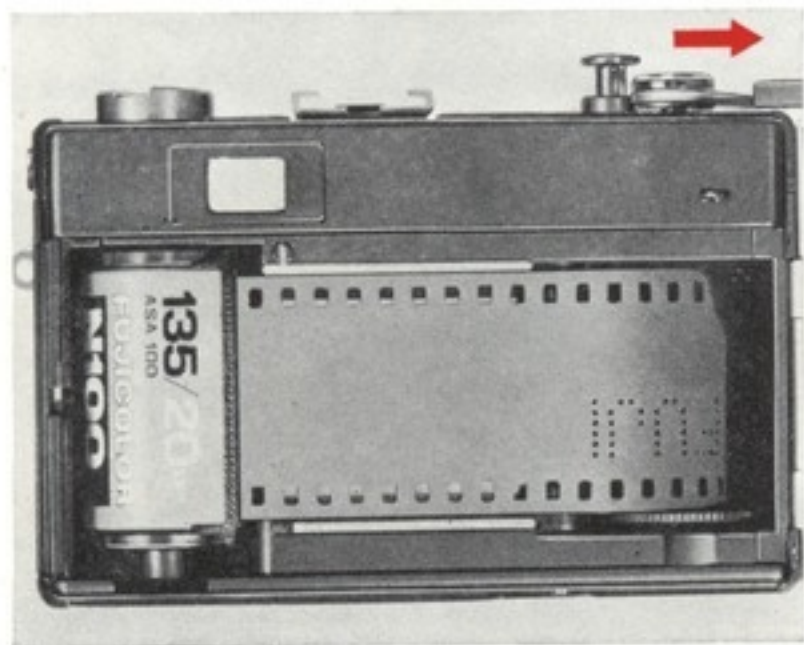
フィルムの入れ方



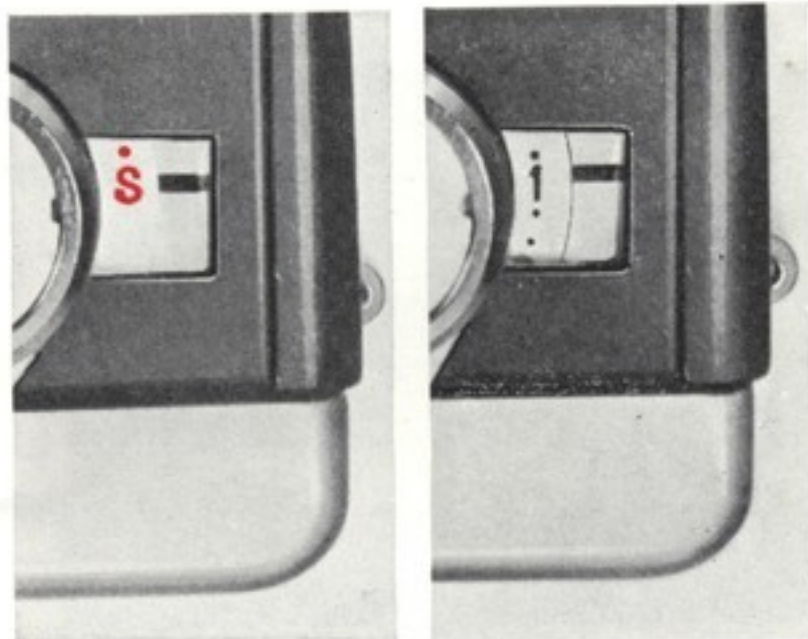
1. 巻戻しクランクを垂直に起こし、上方に一杯に引っ張ると裏蓋が開きます。
2. パトローネの中軸が出ている方を下にしてフィルムを入れ、巻戻しデスクを押しこみます。



3. 巻取軸を回してフィルム差込み口を上にし、巻取軸を押えて、フィルムの先端を差込み口に止まるまで差しこみます。
※シャッターはきっておいてください。

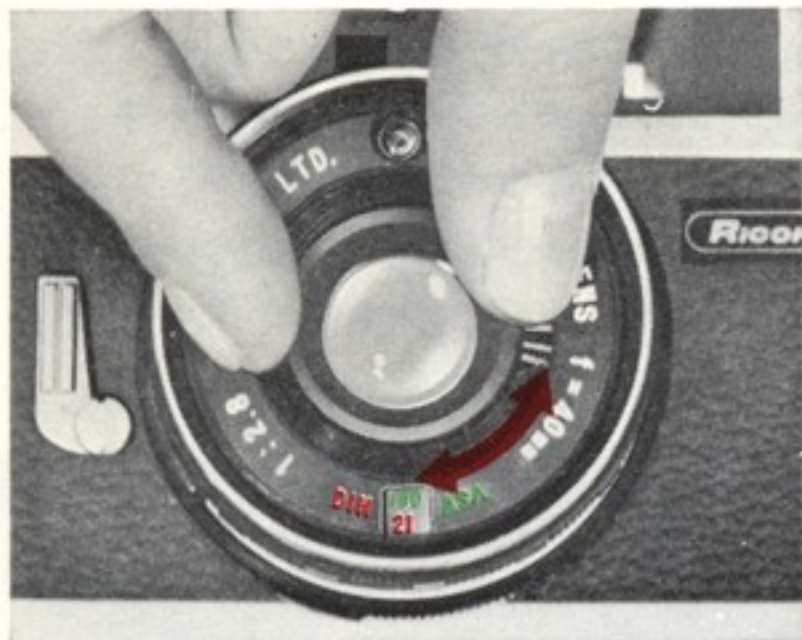


4. 巻上げレバーでフィルムを少し巻上げ、フィルムの穴を上下のスプロケットの歯にかみ合わせます。フィルムが正しく入り、確実に巻取られていることを確かめて裏蓋を閉じます。



5. カウンターは **S** を示していますから、**1** を示すまでフィルムを巻上げてシャッターをきります。次に巻戻しクランクを静かに時計方向に回して、パトローネ内のフィルムのゆるみをとります。

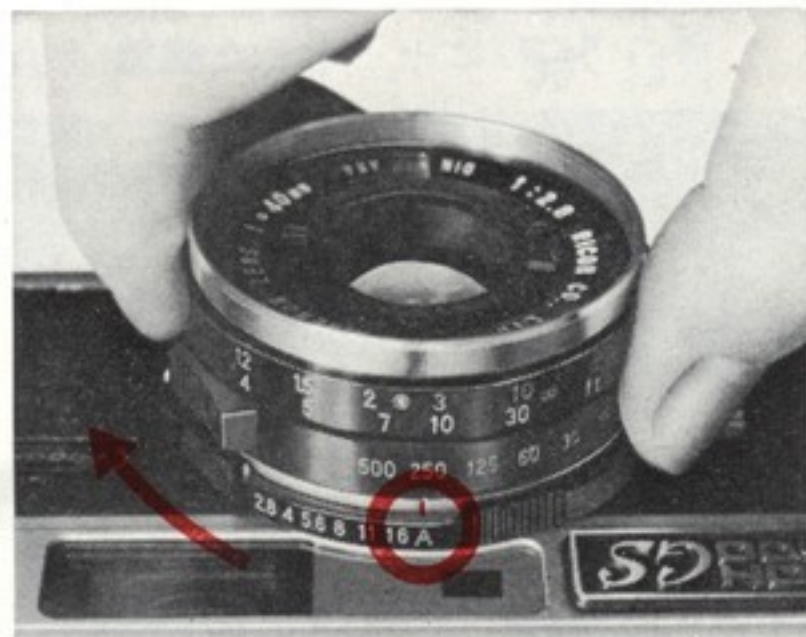
オート撮影



1. フィルム感度をセット

フィルム感度セットリングを回して、使用フィルムの感度をフィルム感度表示窓に現わします。

※フィルム感度は、フィルムの外箱にASA 100、200というように表示されています。

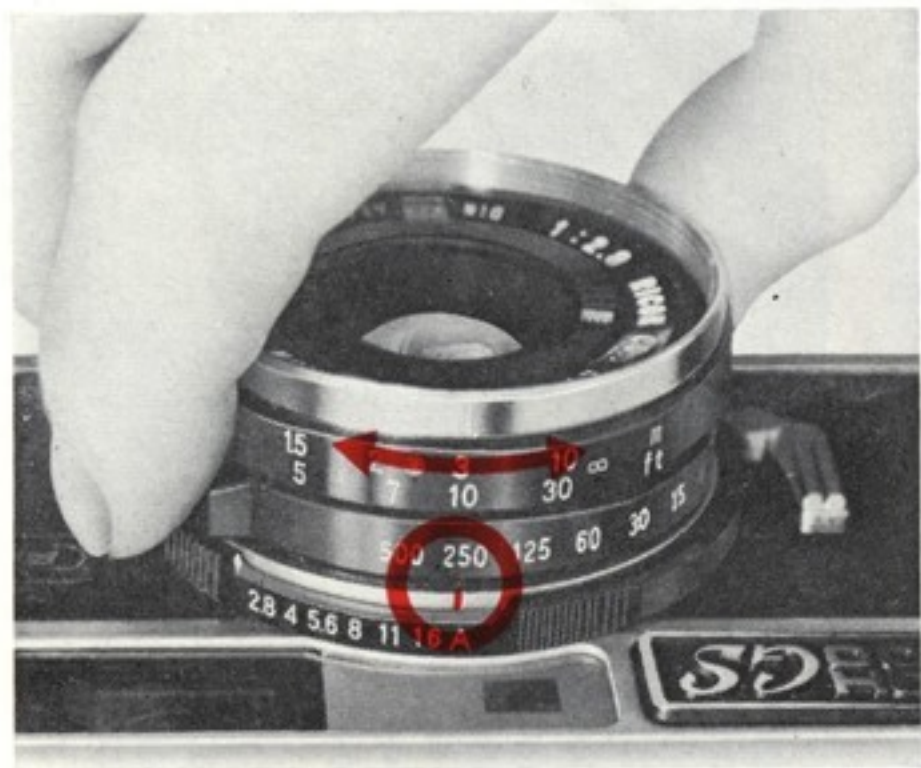


2. オートにセット

絞りリングを回して、A（オート）を赤い指標に合わせます。

※オートにセットすると、被写体の明るさに応じて自動的に絞りが変化し、適正絞り値にセットされます。

1/250秒にセットした状態



3. シャッタースピードをセット

被写体に応じて、シャッタースピードをきめます。（標準的なシャッタースピードは、次頁の作例を参考にしておきめください。

シャッタースピードリングツマミを押えてシャッタースピードリングを回し、シャッタースピード目盛を赤い指標に合わせます。

※シャッタースピードのセットは、必ずカチッと止まる位置でセットしてください。

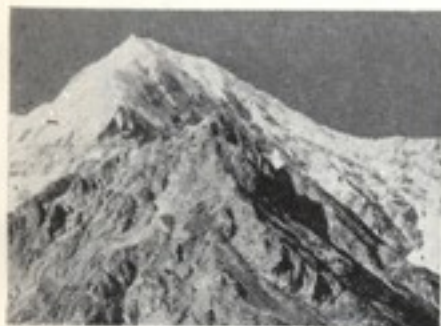
シャッタースピードのきめ方

標準的なシャッタースピードを示しました。これを参考にして被写体に応じて適当なシャッタースピードをおきめください。

※ $\frac{1}{30}$ 秒以下の低速で撮影するときは、三脚をご使用ください。

ASA 100フィルム使用の場合

$\frac{1}{500}$ 秒



快晴の時の山・砂丘
快晴の時の雪景色
快晴の時の海岸
動きの早い被写体

$\frac{1}{250} \cdot \frac{1}{125}$ 秒



快晴の時の屋外
薄曇りの時の屋外
動いている被写体

$\frac{1}{125} \cdot \frac{1}{60}$ 秒



曇りの時の屋外
明るい木陰
明るい室内
明るい窓辺

$\frac{1}{30} \cdot \frac{1}{15}$ 秒



室内
夕暮の風景

$\frac{1}{8}$ 秒・B 夜景



ピントの合わせ方



1. ファインダーをのぞくと、中央の黄色い菱形の部分の像がずれて二重に見えます。



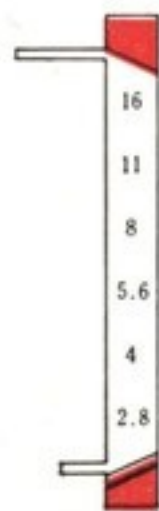
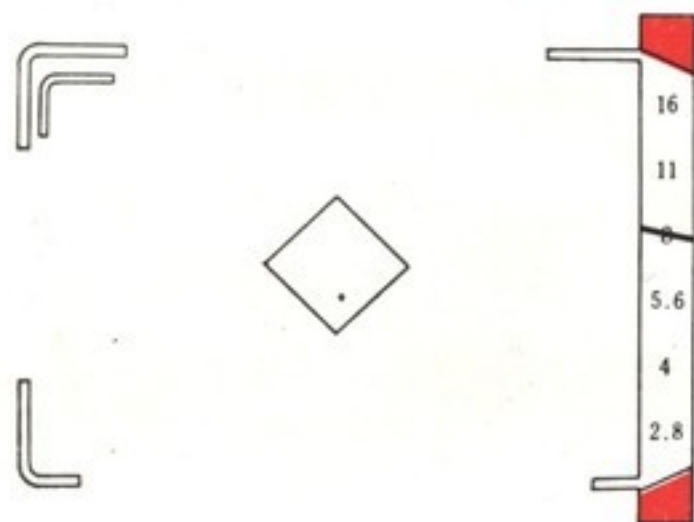
2. 距離リングを回すと薄い像が移動します。二重像が合致したときがピントの合った状態です。
- カメラを両手で保持して顔にあて腕は体にピッタリつけます。そしてカメラが動かないように、静かにシャッターボタンを押してください。



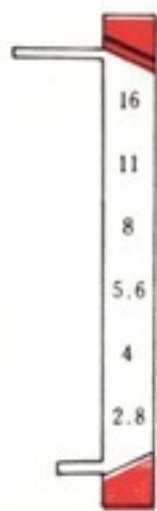
リコー500GSは、距離計によるピント合わせのほかに、常焦点マーク(◎)による簡単なピント合わせ、およびGSスナップ方式による速写もできます。

- 晴天の屋外で撮影する場合、露出、シャッタースピード、距離をグリーン(A・125・◎)に合わせておけば(GSスナップ方式)、いちいち露出やピントを気にする必要はなく、いつでもシャッターを押すだけの全自動撮影が楽しめます。
- 機動性を必要とするスナップ撮影、および運動会、スポーツ撮影などには、GSスナップ方式が威力を発揮します。

ファインダーの見方



露出不足



露出過度

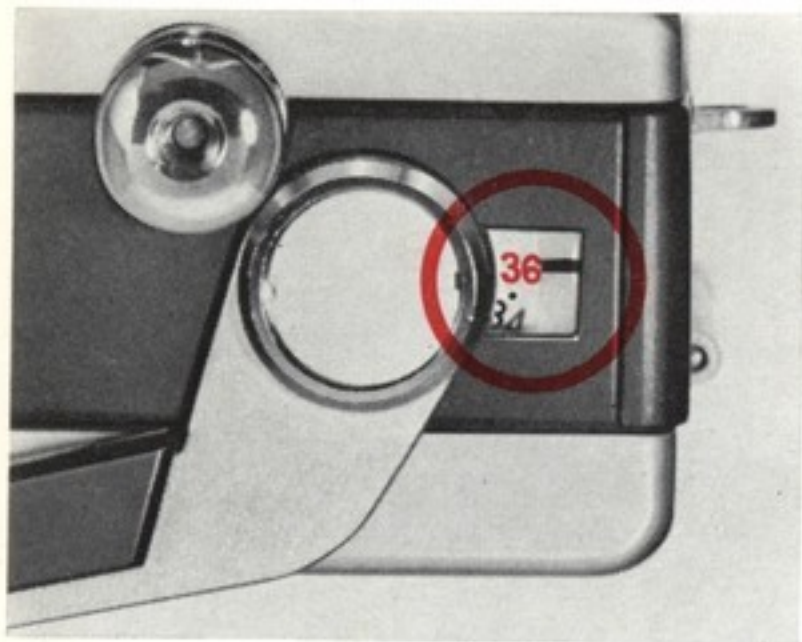
1. ファインダーをのぞくと右側に絞り値が表示されており、メーター指針が絞り値を指示します。メーター指針が絞り値 2.8~16の間であれば、適正露光で撮影されます。

※シャッタースピードがBのときは、露出計のスイッチが切れますので、メーター指針は振れません。

2. メーター指針が、下方の赤マーク(露出不足マーク)内にあるときは露出不足です。シャッタースピードを低速に切替えて、適正露出になったときに撮影してください。

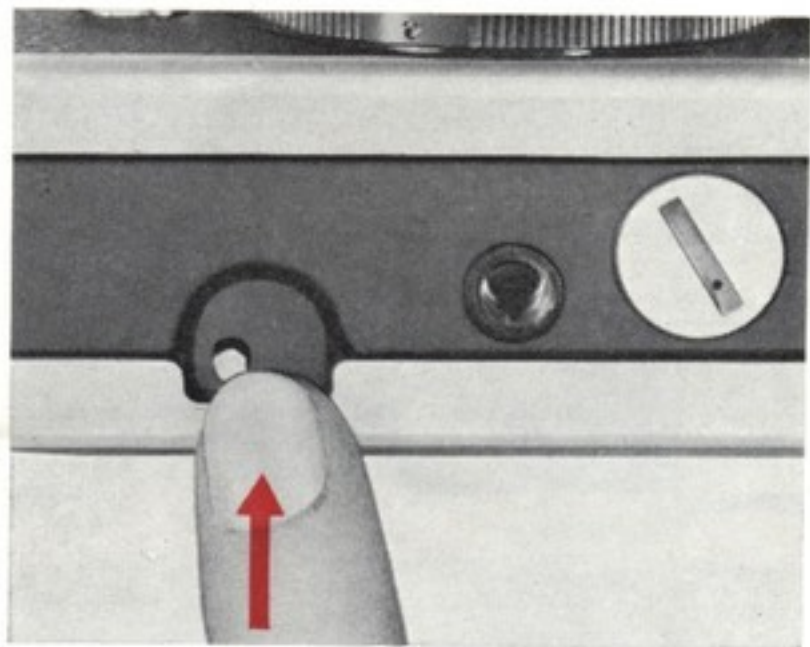
3. メーター指針が、上方の赤マーク(露出過度マーク)内にあるときは露出過度です。シャッタースピードを高速に切替えて、適正露出になったときに撮影してください。

フィルムの巻戻し方



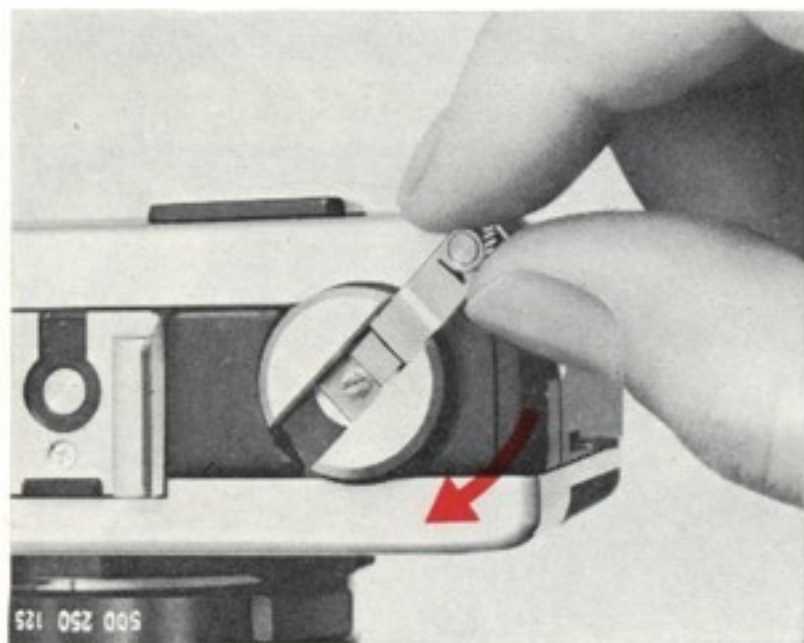
1. フィルムカウンターで撮影終了を確かめます。

※ フィルムが終わりになったとき、巻上げレバーが途中で止まることがありますが、無理に巻上げずに撮影を中止し、次の順序で巻戻してください。



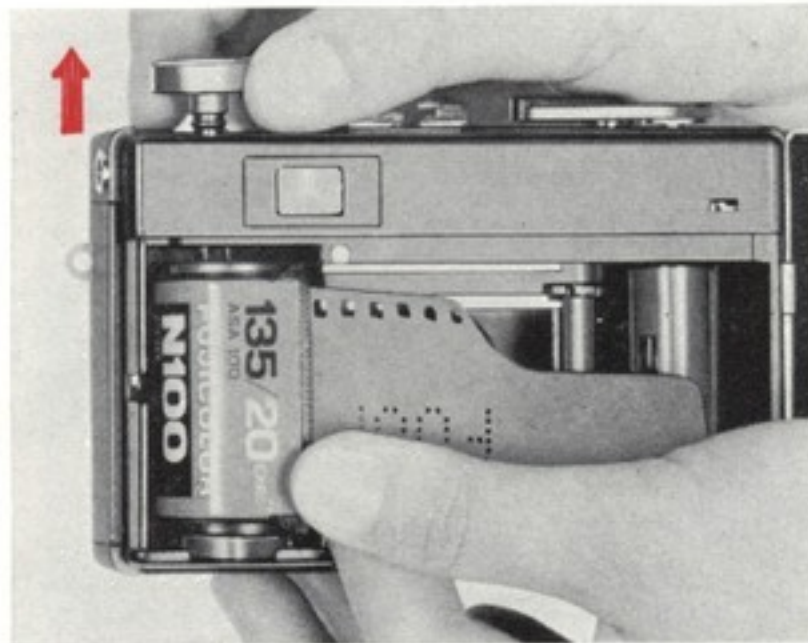
2. 巻戻しボタンを押込んで指を離します。

※ 巻上げレバーが途中で止まっているときは、巻戻しボタンを押込んで戻ってしまうことがあります。この場合には、押込んだまま指を離さないでください。



3. 巻戻しクランクを起こし、クランクにするされている矢印の方向に回して、フィルムを巻戻します。

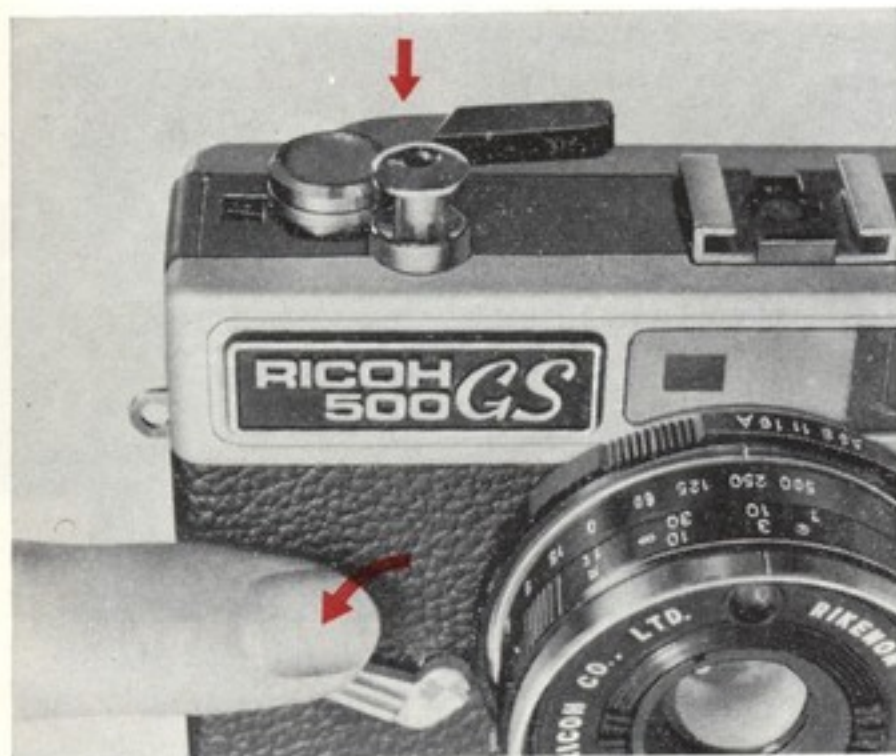
※ フィルムが全部巻戻されると、急に手答えが軽くなります。



4. 裏蓋を開き、巻戻しデスクを引出したままの状態、パトローネを取ります。

※ 巻戻しボタンは、巻上げレバーを巻上げると自動的に元の状態に戻ります。

セルフタイマー撮影



1. フィルムを巻上げてから、セルフタイマーレバーを時計と反対方向に押下げて、セルフタイマーをセットします。

※フィルムを巻上げる前にセルフタイマーをセットした場合には、必ずフィルムを巻上げてください。

2. シャッターボタンを押すとジーツと音がしてセルフタイマーが始動し、約8秒後にシャッターがきれます。

記念撮影やグループ写真撮影などにお使いください。

注意

シャッターボタンを押すときは、露出計受光窓の前に立たずに、カメラの後ろまたは横に立ってシャッターボタンを押してください。

マニュアル撮影



オート撮影を解除し、シャッタースピードと絞り値を適当に組合わせて、技巧的なマニュアル撮影ができます。絞り値のセットは、絞りリングを時計と反対方向に回して絞り数値を赤い指標に合わせます。(メーター指針が指示する絞り値とは無関係にセットした絞り値になります。)このときファインダー内の左下にM(マニュアル)の文字が表示されます。

例1—写真中：絞りを開け(絞り値2.8~4)近距離で撮影すると、被写体の前後がボケて被写体が浮き上って見える特殊な効果を得ることができます。特に人物などを強調したいときに行ないます。

例2—写真右：絞りを絞りこんで(絞り値11~16)撮影しますと、近距離から遠景までハッキリとピントの合った写真を作ることができます。

逆光の人物の撮影



逆光の人物をオート撮影で撮影しますと、左の写真のようにシルエットになってしまいます。逆光の人物を明るく写すには、人物に近づいて太陽光線を露出計受光窓に入れないようにしてファインダーをのぞき、メーター指針が指示する絞り値を読みとります。読みとった絞り値に絞りリングをセットして、撮影位置にもどって撮影をしますと、右の写真のように人物を明るく写すことができます。

[例]メーター指針が絞り値F5.6を指示したときは、絞りリングをF5.6にセットします。



夜間や室内などの暗いところでは、シャッタースピードを $\frac{1}{30}$ 秒にしても、ファインダー内のメーター指針は露出不足を示します。この場合には、フラッシュ撮影を行なってください。

フラッシュ撮影には、リコライトPおよびリコーハイストロボが用意されています。一般のストロボおよびフラッシュガンも使用できます。

リコー500GSとリコライトPまたはハイストロボのコンビで昼も夜も美しい写真がとれます。

1. フラッシュガンをセット

- 1) リコライトP、またはホットシュー式ストロボおよびフラッシュガンの場合

アクセサリシューに取り付けるだけでO.K

- 2) リコーハイストロボ、またはホットシュー式以外のストロボ、フラッシュガンの場合
ストロボまたはフラッシュガンをアクセサリシューに取り付け、シンクロコードをシンクロソケットに接続します。





普通に撮影



フラッシュ撮影

2. シャッタースピードをセット

リコー500GSのシンクロ接点はX接点ですから、ストロボおよびM級フラッシュ電球のいずれも使用できます。

1) ストロボを使用の場合

$\frac{1}{8}$ ～ $\frac{1}{500}$ 秒まで全速度に同調します。

2) フラッシュガンを使用の場合

$\frac{1}{30}$ 秒にセットします。 $\frac{1}{30}$ 秒より高速にセットすると、光量不足になります。

3. 絞り値をセット

絞りリングを回して、求めた適正絞り値を赤い指標に合わせます。

1) ストロボを使用の場合

露出計算ダイアルを使用して適正絞り値を求め、カメラにセットしてフラッシュ撮影します。

(詳しくは、各ストロボの使用説明書をごらんください)。

2) フラッシュガンを使用の場合

フラッシュ電球の箱に、ガイドナンバーおよび撮影距離に対する適正絞り値の表が印刷してありますから、この表より適正絞り値を求め、カメラにセットしてフラッシュ撮影します。または、ガイドナンバーを用いて次式より適正絞り値を求めます。

$$\text{絞り値} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影距離 (m)}}$$

※ **ガイドナンバー**とは、絞り値に撮影距離を掛けた数値です。

使用フィルムのフィルム感度の欄で、シャッタースピード $\frac{1}{30}$ 秒に対するガイドナンバーを求めます。

[例]

A S A 100のフィルムで、ガイドナンバー24のフラッシュ電球を使用し、撮影距離3 mの場合の絞り値は？

上式より **絞り値** = $\frac{24}{3} = 8$ となります。

絞りリングの絞り目盛8を指標に合わせて、フラッシュ撮影を行ないます。

※ 算出式より求めた絞り値が絞りリングの絞り目盛にないときは、近似値で明るい方の絞り目盛をセットしてください。

注 意

フラッシュ撮影終了後は、オート撮影に備えて、絞りリングのAを指標に合わせておいてください。

フィルターの使用について



リコー500GSにフィルターを使用した場合、フィルターは撮影レンズと露出計受光窓を同時におおうので、露出計はフィルターを透過した光を測光し、自動的にフィルターの露出倍数を調整します。露出倍数を考える必要はなく、そのまま撮影してください。

※ フィルターサイズ……………46mmねじ込み式です。

カメラの手入れと保存

1. レンズのホコリは、ブローアーで吹きとばし、レンズハケで軽く払います。汚れや指紋などがついている場合は、シリコンクロスで軽く拭きとるか、よく洗ったガーゼに少量のアルコールをつけて、中心部から外側へうずを描くようにして軽く拭いてください。
2. 海岸で撮影して塩っ気をついたボディーは、堅く絞った布でよく拭いて陰干ししてください。
3. 長時間ご使用にならないときは、水銀電池を抜きとり、カメラをシリカゲルなどの乾燥剤と一緒にポリエチレン袋などに密封して、湿気のないところにしまってください。タンスの中など防虫剤の臭いのあるところはさけてください。

シャッターを押すだけ——リコーオートハーフシリーズ

押すだけの名機。300万人のファミリーカメラです。携帯便利な超コンパクトサイズ。旅行カメラとして最適です。



オートハーフE

(ケース・ストラップ共)

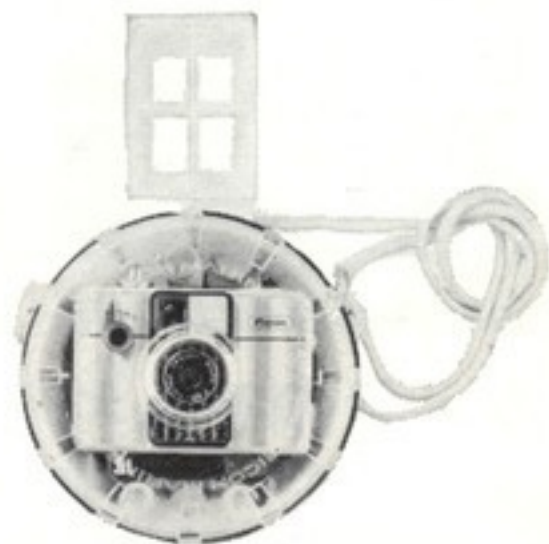
- 若者に人気のある
ファッションカメラ



オートハーフSE

(ケース・ストラップ共)

- セルフタイマー付きの
高級機



オートハーフマリーン

完全防水カプセル

スポーツファインダー

(オートハーフE・SE用)

- 水中写真もシャッターを押すだけでOK

オートハーフは専用カプセルにセットするだけで、すべて完全防水カメラになります。

グリーンマークをあわせるだけ——リコーハイカラー35

撮りたいときにワンタッチ。システムで楽しめるコンパクトカメラです。独特のフィルム自動巻きで、連続撮影も楽しめます。



ハイカラー35S

(ケース・ストラップ共)

- セルフタイマーつきの高級機

ハイカラーは、専用カプセルにセットするだけで完全防水カメラになります。

高性能オレンジマスクつき
ハイストロボ

(オートハーフ・ハイカラー
共通)

携帯便利な超小型
ポケットフラッシュガン

(オートハーフ・ハイカラー
共通)



ハイカラーマリン

完全防水カプセル
スポーツファインダ
マリンフラッシュ

- 水深30mでもシャッターを
押すだけ

フルアングル創造一眼レフ ＝リコーフレックスTLS401

世界で唯一の映像機能〔2ウェイファインダー・2TTL測光方式〕を内蔵した画期的なシステムカメラです。

オートリケノン55ミリF1.4付

オートリケノン50ミリF1.7付

ボディ（皮ケース付）

ブラック各 高・ケース各

交換レンズ・接写・複写用品などアクセサリ多数揃えてあります。



高性能電子シャッター付き ＝リコーエルニカ35

ローソク1本の明るさから真夏の海岸まで完全連動EE。オートフラッシュ、フラッシュマチック機構でフラッシュ撮影もワンタッチ！



シグナル発信装置付きのストロボ
リコライトP（ケース付）

スタートからエンドまで快調——リコー8ミリ名コンビ

リコー独特のフルオートシステムが〔操作ミス・ゼロ〕の理想を実現。
ファミリー映画が安心してつくれます。



フェード、バックラ
イトコントロール装
置付きの最高級8倍
ズーム撮影機
リコー(スーパー8)
800Z

(付属品、キャリ
ングケース共)



スーパー8、シングル
8、ダブル8フィルムの
映写ができます。

リコー(ハロゲン)ト
リオスコープ

- 姉妹機
リコー(オート8P)
トリオスコープ

望遠・双眼鏡カメラ

リコーテレカ240

倍率7倍

双眼鏡でとらえた映像がそのまま記録できます。

(キャリングケース・ホルダー共)



RICOH リコ-カメラ

東京都中央区銀座 6-14-6